

文京区地震防災マップ 〔揺れやすさマップ〕

地震防災マップについて

文京区地震防災マップは、「首都直下地震等による東京の被害想定」(東京都、令和4年5月25日公表)における都心南部直下地震(マグニチュード7.3)を対象として、文京区内の「揺れやすさマップ」と「建物倒壊危険度マップ」を作成したものです。

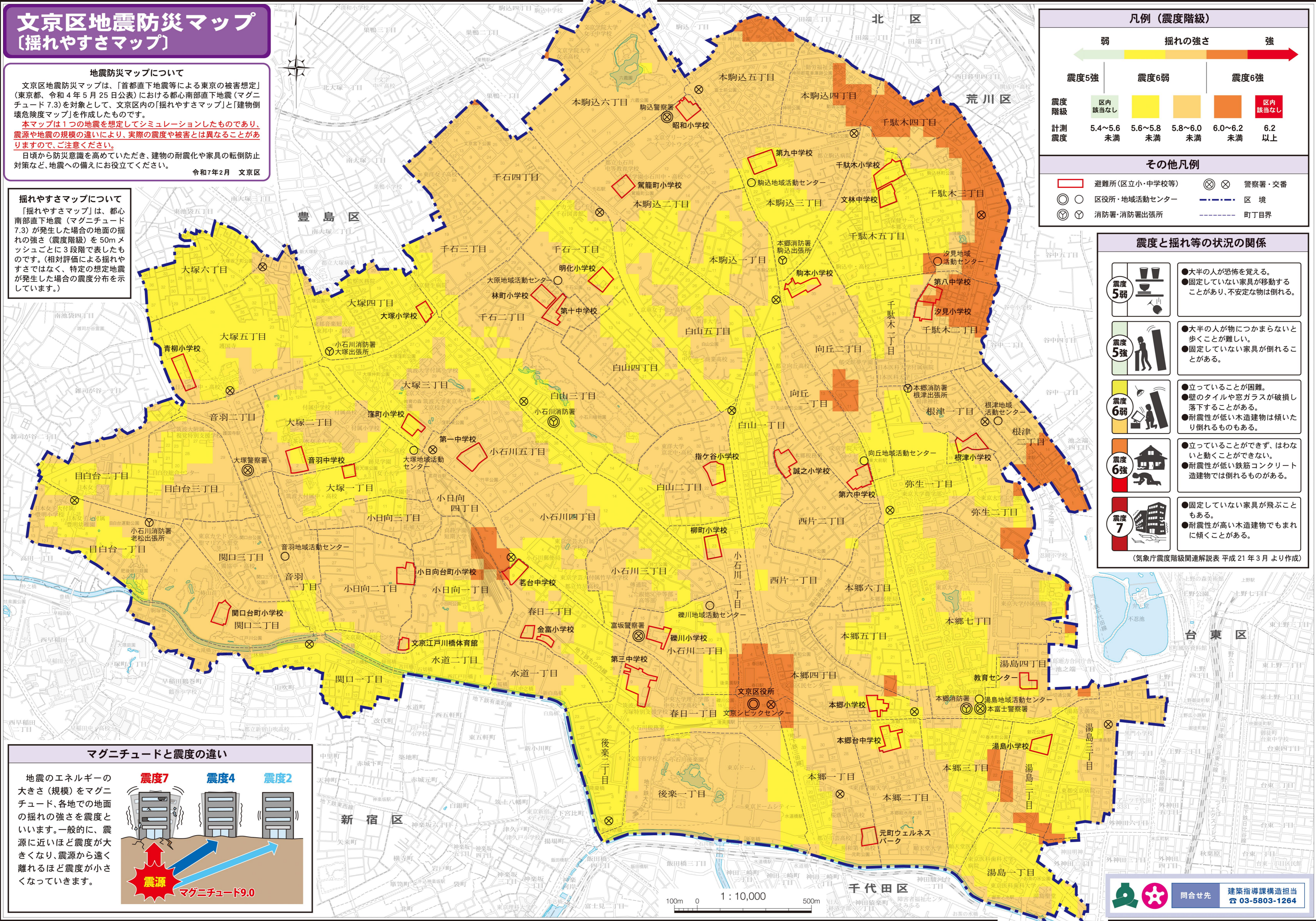
本マップは1つの地震を想定してシミュレーションしたものであり、震源や地震の規模の違いにより、実際の震度や被害とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

日頃から防災意識を高めていただき、建物の耐震化や家具の転倒防止対策など、地震への備えにお役立てください。

令和7年2月 文京区

揺れやすさマップについて

「揺れやすさマップ」は、都心南部直下地震(マグニチュード7.3)が発生した場合の地面の揺れの強さ(震度階級)を50mメッシュごとに3段階で表したものです。(相対評価による揺れやすさではなく、特定の想定地震が発生した場合の震度分布を示しています。)



凡例(震度階級)				
弱 ← 揺れの強さ → 強				
震度5強	震度6弱	震度6強		
区内該当なし	区内該当なし	区内該当なし	区内該当なし	区内該当なし
計測震度 5.4~5.6 未満	計測震度 5.6~5.8 未満	計測震度 5.8~6.0 未満	計測震度 6.0~6.2 未満	計測震度 6.2 以上

その他凡例			
	避難所(区立小・中学校等)		警察署・交番
	区役所・地域活動センター		区境
	消防署・消防署出張所		町丁目界

震度と揺れ等の状況の関係	
	●大半の人が恐怖を感じる。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定な物は倒れる。
	●大半の人が物がつかまらなると歩くことが難しい。 ●固定していない家具が倒れることがある。
	●立っていることが困難。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損し落下することがある。 ●耐震性が低い木造建物は傾いたり倒れるものもある。
	●立っていることができず、はわないと動くことができない。 ●耐震性が低い鉄筋コンクリート建造物では倒れるものがある。
	●固定していない家具が飛ぶこともある。 ●耐震性が高い木造建物でもまれに傾くことがある。

(気象庁震度階級関連解説表 平成21年3月より作成)

マグニチュードと震度の違い

地震のエネルギーの大きさ(規模)をマグニチュード、各地での地面の揺れの強さを震度とします。一般的に、震源に近いほど震度が大きくなり、震源から遠く離れるほど震度が小さくなっていきます。

